

剣道

# 古橋君 インターハイで健闘 剣道でも赤鬼が活躍見せた

▶次の大会に向け意欲を見せる古橋君



目標はインターハイ  
運動部 2017

12

## 「来年のインターハイに つなげたい」



速報新聞

### キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

### 新聞部

彦根市金亀町4番7号

8月10日にカメイアリーナ仙台で全国高等学校総合体育剣道大会の男子個人戦が行われた。出場した古橋知大君（2—5）は1回戦で愛媛県の帝京第五高校代表と対戦し、胴と面での2本負けとなった。古橋君は今回のインターハイでの経験を活かし、次の大会でも上位入賞を狙う。

古橋君はインターハイに臨んだときの心境を「滋賀県や学校の代表として自分の持っている力を発揮できるように頑張ろうと思っていました」と明かした。試合前は緊張はなく、全国の舞台で試合を楽しめるといいう気持ちが大きかったため、リラックスして試合に挑めたという。「試合の前半に良い技が出せたので、気持ちに乗っていた。相手は今回のインターハイでベスト8。試合には負けてしまったが、全国クラスの相手と戦えたので良い経験となった。来年のインターハイにつなげたい」と振り返った。今回の試合を受けて「自分が良い技を出しても相手に取られると負けてしまう。相手に取られない限り負けることはないの、防面を強くしていきたい」と課題を見据えた。

また古橋君は練習で心掛けていたことを「インターハイの前の県大会から防面を気にかけていた。近畿大会では相手に取られたときの技が一緒だったので、一度取られた技で取られないように気をつけ、その後のインターハイの試合前も防面を強化する練習をするようにしていた」と振り返った。

振り返った。今回の経験で得たことを糧に来年のインターハイ出場を見据え、練習に励む古橋君は「インターハイ後の練習にはインターハイでの経験が大きいく影響した。インターハイで生で見るのができた、足さばきや体さばきを会得出来るようにしている」と話した。

最後に古橋君は次の試合に向け「秋の大会の個人戦で上位をキープできるようにしたい。この秋の大会の結果が春の大会につながるの、結果を残せるようにしたい」と意気込みを見せた。

古橋君はインターハイに臨んだときの心境を「滋賀県や学校の代表として自分の持っている力を発揮できるように頑張ろうと思っていました」と明かした。試合前は緊張はなく、全国の舞台で試合を楽しめるといいう気持ちが大きかったため、リラックスして試合に挑めたという。「試合の前半に良い技が出せたので、気持ちに乗っていた。相手は今回のインターハイでベスト8。試合には負けてしまったが、全国クラスの相手と戦えたので良い経験となった。来年のインターハイにつなげたい」と振り返った。今回の試合を受けて「自分が良い技を出しても相手に取られると負けてしまう。相手に取られない限り負けることはないの、防面を強くしていきたい」と課題を見据えた。



▲個人戦・団体戦ともに剣道部のさらなる活躍に期待がかかる。